

政策研究大学院大学・建築研究所共催シンポジウム「建築物の水災害対策」

2021年2月17日（水） オンライン開催 日本語／英語（同時通訳）

2019年の台風19号における高層マンションの受変電設備の冠水によるエレベーターや給水設備等のライフラインが使用不能となる被害、2020年の7月豪雨における高齢者施設や市街地の広範囲にわたる浸水による甚大な人的被害や建物被害の発生など、近年、水災害の激甚化がみられる中で、建築物における水災害対策が重要となっています。本シンポジウムでは、国内外の取組みや技術の動向等について情報交換し、今後取り組むべき課題について考えます。

プログラム

動画（日本語）

進行役：菅原賢（政策研究大学院大学教授）

13:30 - 主旨説明：江田頼宣（建築研究所住宅・都市研究グループ長）

13:40 - 講演及びパネルディスカッション モデレーター：木内望（建築研究所）

◇ 基調講演（13:40 -）

[「洪水にレジリエントな建築・都市への再生に向けて」 Edward Barsley \(The Environmental Design Studio\)](#)

◇ [講演](#)（14:20 -）

「建築物の水災害対策； 背景、必要性と可能性」 木内望（建築研究所主席研究監）

「建築物の洪水被害の実態にみる建築物の水災害対策のあり方と課題」 田村和夫（建築都市耐震研究所代表）

「戸建て住宅の被災対応の現場からみた修復の課題」 長谷川順一（たてもの修復支援ネットワーク代表）

「建築物におけるBCP・LCPの観点からみた建築物の水害対策と課題」 山海敏弘（国土技術政策総合研究所シニアフェロー）

「流域治水における建築物への期待」 瀧健太郎（滋賀県立大学准教授）

「近年の住宅・建築行政における水害対策の取り組み」 今村敬（国土交通省住宅局建築物防災対策室長）

◇ パネルディスカッション（16:00 -）

今後の建築物の水災害対策について

◇ 閉会（17:00 -）